

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		A	グループ	施策名									
参加者	行政	中村英樹, 坂口増和, 土井美香, 伊藤友規美, 石黒欽也		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	家田倫子, 那須直美, 前田悠樹		基本施策	1-1	地域で大切にする子育て環境							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地であるこの地域の働き方は土日祝に子どもを預かる所が必要であるが、休日保育がない。 ・一時保育の利用について、一週間前予約が使い勝手が悪い。半田市子育て支援センターのようにクイックに利用できるが良い。 ・子育て支援対策に、一部の職員であるが意欲を感じられない。 												
予算(事業)名	子ども医療費		保育所一般管理費		放課後児童健全育成事業費			その他					
主な予算事業(実施計画・事業評価)の良い点	・県内でも早くから18歳到達年度末までの医療費助成を行っている。		適正な運営が図られた。		児童の健全な育成のため、適正な運営が図られた。								
主な予算事業(実施計画・事業評価)の問題点	・県内でも子ども医療費助成の水準がトップクラスであることがあまり知られていない。		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化に伴う修繕費の増加傾向、児童数減少による施設数の適正化 ・児童数は減少傾向であるが、低年齢児童及び配慮の必要な児童の増加による保育士の適正配置 		支援員の確保、資質向上 入所希望者増加に対する受け入れ体制 新型コロナウイルス感染拡大防止策の構築								
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	(摘要)			(摘要)				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		A	グループ	施策名									
参加者	行政	中村英樹, 坂口増和, 土井美香, 伊藤友規美, 石黒欽也		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	家田倫子, 那須直美, 前田悠樹		基本施策	1-4	個性を活かす障がい者福祉							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な施策・制度があるにも関わらず障がい施策のPR（住民向け・当事者向け両方）が不足している。（制度・施設など） ・障がいを持っていても仕事への働き甲斐や自負心を醸成できるような場所が増えれば良いと思う。 ・住宅訪問などして、現状をみまわってみてもいいかと思えます。 ・サービスや助成の対象のことで申請前に済んでしまった事は対象外になってしまうので、もっと分かりやすく利用できるように周知が必要だと思います。 												
予算（事業）名	障害者総合支援事業費		障害者医療費		精神障害者医療費			その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	障害者の方に希望するサービスの給付や医療費扶助を行い障害者の安心した生活に寄与できている。		高水準の福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために引き続き事業を継続する必要がある。		高水準の福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために、引き続き事業を継続する必要がある。								
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	障害福祉サービス事業者の充実と提供。		優先的に他の公費負担医療を受給してもらいたいが、個々の受給者について、他の公費負担医療の対象になるか判断できない。		精神障害者保健福祉手帳1・2級を所持している方が自立支援医療を受給することで町の負担が軽減するが、受給者にはメリットがないため受給されない方がいる。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		A	グループ	施策名									
参加者	行政	中村英樹, 坂口増和, 土井美香, 伊藤友規美, 石黒欽也		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	家田倫子, 那須直美, 前田悠樹		基本施策	1-6	豊かな自然を活かしたひとづくり							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と触れ合う機会の充実が求められているが、自然を求めて観光に来る人たちを受け入れる場所がない。 ・太陽光パネル等の設置を規制し、自然を守る必要がある。 ・空き家対策に取り組む必要がある。 												
予算(事業)名	地方創生推進事業費(空き家・まちづくり推進事業)		農業土木一般管理費		環境保全対策事業費			その他					
主な予算事業(実施計画・事業評価)の良い点	空き家利活用セミナーの参加者が2人移住するなど一定の成果があった。		農地・農業用施設の保全のみならず、地域コミュニティの活性化に貢献している。		緑のカーテン事業により地球温暖化防止や夏の節電対策を図れた。								
主な予算事業(実施計画・事業評価)の問題点	一定の成果があるものの費用対効果を向上させることが課題である。		活動している3つの組織の事務処理が煩雑なため効率化を図る必要がある。		事業の意義の周知し、住民の意識向上を図り参加世帯を増やす必要がある。								
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	2	点	地域との協働	0	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	(摘要)			(摘要)				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		B	グループ	施策名									
参加者	行政	大崎沙久実, 伊藤尊人, 堀之内浩子 松本伸弘, 宮地利式		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	山本多恵, 坂本光江, 桂木恭子		基本施策	1-2	次代の担い手を育む教育環境							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政のあり方そのものも変えて、都度反映するような教育のカチを検討してみてもどうか。 ・ 田舎だからこそその可能性を示し、子供たちの盲目的なマイナス思考を取り除くことが肝要。 ・ 美浜町のように小中一貫の校舎、将来的には保育所も同じ敷地になってほしい。 ・ 学校統合は、地域に住みたい、住み続けたい希望を閉ざすもので、慎重な討議が必要だと思います。 												
予算（事業）名	教育振興一般管理費 (教育委員会・小学校・中学校)		教育環境整備事業費 (小学校・中学校)		学校給食施設整備事業費			その他					
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の良い点	外国人英語講師を派遣することにより、日常生活に必要な英会話の勉強や国際理解教育を推進することができた。		中学校5校の環境整備工事を適正に実施することができた。		新学校給食センター建設工事にかかる事業は、予定通り行うことができた。								
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の問題点	外国人英語講師の需要が高まり、質の高い講師を継続的に確保することが必要。コロナ禍において、講師確保が困難。		施設が老朽化しているため、今後大規模な改修計画が課題である。		発注者として工事の監督・検査・評価などどのように適切に実施すればよいか								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	6	点	(内訳)	予算事業	3	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		B	グループ	施策名									
参加者	行政	大崎沙久実, 伊藤尊人, 堀之内浩子 松本伸弘, 宮地利式		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	山本多恵, 坂本光江, 桂木恭子		基本施策	1-3	生涯通じて取り組む健康づくり							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知多厚生病院のような施設は絶対に欠かせないと思います。存続とIT化によって医師不足を解決して質の高い医療体制を知多半島全体で気づいていけるとよいと思います。 ・ コロナ対策など、町民の知りたい情報をもっと提供すべきだと思います。 ・ 健康づくりは、住民の意識改革が必要だと思います。 												
予算（事業）名	保健衛生一般管理費	離島診療所運営費		予防接種事業費			その他						
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	新型コロナの影響で当初予定していた実施回数に満たなかったが、実施できた二会場における献血者数はそれぞれ前年実績を上回ることができた。	離島における医療の確保のため運営費の補助を実施した。		町内又は町外のかかりつけ医療機関による個別接種により接種体制を維持した。									
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	コロナ禍における献血協力者の深刻な不足	継続的な医療の確保		新型コロナウイルス感染症に対する住民の不安の解消									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	5	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)	(摘要)			(摘要)				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		B グループ		施策名									
参加者	行政	大崎沙久実, 伊藤尊人, 堀之内浩子 松本伸弘, 宮地利式		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	山本多恵, 坂本光江, 桂木恭子		基本施策	1-5	安心して住み続けられる長寿社会							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・子育てと同様に、相談先として分かりやすい窓口を設置してほしい。 ・不安や不便を取り除けることをアンケートにとって実施してみたらなにか見えてくるように思います。 ・子供とお年寄りが交流できる場があれば良いと思う。 ・予算事業の内容の認知度が低いと思う。将来、どんなサービスが受けられるのかがわかれば、若年層の安心感につながると思う。 ・デジタル格差を減らすことに着目するのではなく、デジタルの利便性を伝えることに注力すべきと考える。 											
予算（事業）名	老人福祉一般管理費		在宅福祉事業費		介護保険特別会計		その他						
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問回数は減少したものの、電話等により安否確認ができた。		各事業を適切に実施できた。紙おむつ給付事業については、新型コロナウイルス感染症の影響による支援策として増額支給を行った。		適正に介護サービス費の支払いが出来た。コロナ禍により、各種会議が中止となる期間もあったが、オンライン会議を導入し、地域包括ケアシステムの推進を図るための多職種との連携ができた。								
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	訪問できない時期でも安否確認ができる体制の構築が必要。		利用者が増加している事業もあり、国県等の補助が可能な事業がないか検討していく必要がある。		介護認定者数の増加とともに、介護給付費も年々増加している。コロナ禍でサロンや百歳体操の活動が停滞してしまった。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	5	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		C	グループ	施策名									
参加者	行政	保母公次, 家田直政, 滝本義紀 小坂有一, 相川洋輝		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	鈴木伶菜, 坂口尚子, 滝本孝治		基本施策	1-7	郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統の維持は「その町の住人である」というアイデンティティに繋がるので、押しつけがましくならないように、その意義を認知させたい。 ・ 継承しつつ、有り方を変えていかないと存続は難しいと感じています。 ・ 伝統行事は人手不足を考えて省力化、簡素化はやむをえないが歴史や意義を伝えていくことが重要かと思えます。 ・ 補助金を出しているだけで、具体的な指導が見られない。それぞれの団体や協会にどれだけ町の指導がきているか疑問だ。 												
予算（事業）名	生涯学習推進事業費		スポーツ教室・大会開催費		総合体育館維持管理費			その他					
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	感染症対策を実施したうえで開催することができた。なお、本事業は地域と学校のつながりを築く貴重な機会である。		新型コロナウイルスの影響で教室、大会の開催が難しい状況のなか、可能な限り開催し、町民のスポーツ活動への積極的な参加を促した。		吊天井の耐震化及びLED化等工事と空調機熱源更新工事を行い、防災拠点としての機能強化を行った。								
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	現行の生涯学習推進計画については策定後9年が経過し、生涯学習のあり方について、住民ニーズが明確に反映されているか不透明な部分がある。		町民に対し、運動意欲を増進させる事業の新規開拓が課題である。		施設内のスポーツ用備品は、老朽化等により更新が必要である。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	2	点	（内訳）	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	0	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			（摘要） 広報費や草刈作業の予算を充実させる			（摘要） 内田家や梅原邸などが地元であっても知らないため広報や周知を行う			（摘要） 知らない人が多い		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		C	グループ	施策名									
参加者	行政	保母公次, 家田直政, 滝本義紀 小坂有一, 相川洋輝		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	鈴木伶菜, 坂口尚子, 滝本孝治		基本施策	3-5	暮らしを支える地域公共交通							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来ある子どもたちが、住んでいる環境で何かを犠牲にするのはいかなものか。 ・ 難しい問題です。人口を増やすか、時間帯で使う車両（海っ子バス）を変えてコストダウンかそして配車を増やす。 ・ 役場や子育て支援施設にアクセスしやすい公共バスがあればいいのに。電子マネー使いたい。 ・ 補助の券も全然足りていない。どういう割合で割引券を出しているのか教えて頂きたい。必要な人、要らない人アンケートなどをとったりしてはどうでしょうか。 ・ 海っ子バスを小型化して本数、ルートを増やしてほしい。 												
予算（事業）名	公共共通対策事業費		離島振興費		交通安全推進費			その他					
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	運休や大きな事故等もなく運行することができた。		コロナ禍での書面決議やオンラインでの要望となったが目標を達成できた。		人身交通事故件数は減少したため、啓発活動の効果はあったと考える。								
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	少子化・人口減少により町の人口が減っていくなか、いかに今のサービス水準を維持しつつ経費を抑制できるのかが課題である。		PRイベントがオンラインとなってしまうと、説明をしても現地の雰囲気などが感じられないため効果が薄くなってしまいう		2年連続で死亡事故が発生しており、更なる対策が必要である。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	（内訳）	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			（摘要）	バスの小型化による経費削減や船の終便を増やすなど利用者の増加を促進する		（摘要）	今後高齢者が増えることが予想されるためバス停の数を増やすなど利便性の向上を図る		（摘要）	歩道の整備や草刈なども行き安全な観光地とする	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		C	グループ	施策名										
参加者	行政	保母公次, 家田直政, 滝本義紀 小坂有一, 相川洋輝		基本目標	3	安心できるまちづくり								
	町民	鈴木伶菜, 坂口尚子, 滝本孝治		基本施策	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ								
施策情報														
町民目線から見た現状と課題	<p>・善意での共助も制限が出るうえ、消耗するばかりで疲れることもあり、ここは行政の担当なのでは？と思うこともある。</p> <p>・地域の自主的な町づくり。町民が活用できる広場づくりなどの運動と町の支援が必要です。また、従来からの継続事業の予算増進めてください。</p> <p>役場職員が男女共同参画の研修を受けて欲しい。そして女性職員がもっと活躍できるよう、家庭の負担が大きい職員でも活躍できる働き方改革・意識改革を、役場から始めて欲しい。あらゆる会議、委員会、意思決定できる役職においても、</p>													
予算（事業）名	まちづくり推進事業費	地方創生推進事業費（空き家・まちづくり推進事業）			自治振興費			その他						
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	地域まちづくりの事業活動の内容を広く町民等に発信することができた。	空き家利活用セミナーの参加者が2人移住するなど一定の成果を得た。			会議を計画どおり実施できた。									
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	コロナ禍による今後のまちづくり協議会の事業のあり方や感染症防止対策の徹底について新たな課題が生じている。	費用対効果が高いとまでは言えないことが問題である。			各地区との連携が必要である。									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見														
総合評価	合計	2	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	0	点	
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	今後空き家が増えていくため宣伝や登録に力を入れていく必要がある			(摘要)	南知多に住むとなった場合そのアフターフォローが必要			(摘要)	利用者があまりいない

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		D	グループ	施策名										
参加者	行政	榑原康広, 百合草文哉, 相川知久, 齋藤桂, 北川峰子		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり								
	町民	松下丈弘, 大岩ゆき乃, 大松展子		基本施策	2-1	豊かな海と産物を活かした水産業								
施策情報														
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・某、魚介捌きYouTuberのように、この町に有益な情報発信をしたい。 ・インターネット発信で、地元の人より他県、他町の人の方がよく知っているようだ。情報（SNS）を発信する。自分たちが地元の魅力を知ること。 ・育てる漁業を漁業組合と連携して養殖可能な魚介類を育成して、地産地消や観光業との協業、就労人口増加を目指してもらってはどうか。 ・最近の漁獲量の減少などの主な原因を、県などと協力し調査を行い、広く情報を伝えることが不安一掃と対策を打つカギになると思います。 ・漁港にごみを捨てていかれる釣り客等が多いので、看板などをもっと立てキレイな港を目指したい。 ・海岸清掃を行っているが、自分の活動がどれだけの価値があるが疑問に思うことがある。 ・漁業者の高齢化が進み、後継者不足は深刻です。漁港の施設利用者も減少し、いずれ漁協は存続の危機に陥ってしまいます。老朽化し、使用しなくなった施設もありますが、取り壊されず放置されて危険です。 													
予算（事業）名	漁業振興対策事業費	栽培漁業振興対策事業費	港湾施設維持管理費	その他										
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	各種団体の運営費及び活動費に対し、適正に負担金や補助金を支出できたと考える。	稚魚及び稚貝放流を行い、漁業経営の安定化を図ることができたと考える。	新型コロナウイルス蔓延防止のため小榑駐車場の夏季営業を休止したことにより委託費が減少した。											
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	漁協所有の漁業施設の老朽化に伴い、更新等の経費	水産資源について、減少傾向のある魚種に対する回復	小榑駐車場の利用者が減少傾向にある中、新型コロナウイルスの蔓延防止のため夏季営業の休止となった。											
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見														
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点	
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	漁獲が減っている。育てる漁業を進めて、若者が漁業に携われるようにしてほしい。			(摘要)	ニーズに合っているとは思いますが課題がたくさんあるので、解決に向けて推進してほしい			(摘要)	行政の協働への姿勢は理解できたが、よく見えるようにするとよい

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		D	グループ	施策名									
参加者	行政	榊原康広, 百合草文哉, 相川知久, 齋藤桂, 北川峰子		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民	松下丈弘, 大岩ゆき乃, 大松展子		基本施策	2-2	豊かな農地と産物を活かした農業							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元農家の一覧（作ってる野菜やその連絡先）があると嬉しい。 ・ 農業を志す町民（または今後移住希望者）に、広く農業体験やこれらを照会する取り組みが求められる。特に現行の法規制など（緩和する特別措置など）を検討し、従事しやすくする。 ・ 道の駅設営。農産物等マルシェ出店しやすいものとする。JAとは別とし、カラーを新しいシステムで展開する。活性化のため。地産地消を条件とした市や店舗の誘致に力を入れてほしい。 ・ 農地版の空き家バンク。 												
予算（事業）名	農業振興対策事業費		農業土木一般管理費		県営経営育成基盤整備事業費			その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	補助が必要な農業者に対して的確に補助金が交付できるように、助成事業に係るさらなる現況把握が必要である。		農地・農業用施設の保全のみならず、地域コミュニティの活性化にも貢献している。		予算の範囲内において、農道再整備等を行うための事業進捗が図られた。								
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	助成事業と、事業対象者との間に乖離がある事業があり、利用実績が全くない事業もあった。		3つの活動組織が活動を行っており、それに伴う町の事務処理が煩雑であるとともに、活動組織内の事務処理負担が増加している。		事業費削減により予定した路線の工事実施が遅れている。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	荒地の対策など個人ではできないことについて、対処してほしい。		(摘要)	子供に託せるような農地を残していきたい。		(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		D グループ		施策名									
参加者	行政	榊原康広, 百合草文哉, 相川知久, 齋藤桂, 北川峰子		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民	松下丈弘, 大岩ゆき乃, 大松展子		基本施策	2-5	新たなチャレンジを創る起業支援							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・「場所を選ばない働き方を可能とする技術的環境整備」のために、町としてインターネット回線の強化が出来ないか？また、町内の情報・データをネット上で開示してビッグデータ活用を行ったり、農業・漁業・観光などの各産業のICT・IOT活用を進めたりするなど、現代の時勢に合った施策をして頂きたい。 ・手法や、当町内での事例、具体的な手続きの案内までは至っていないので、町内の先輩起業創業家のうち、ビジネス連携希望の先行者がいれば結んであげるのも行政でできないか。 ・各地区の移住定住者地区の組織との交流に町がもっと積極的に介入しないと個人的な交流はあっても、公式な会合には声はかからない。 											
予算（事業）名	産業連携推進事業費		まちづくり推進事業費		農業振興対策事業費			その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	補助対象者が限定されていることから、広報による周知ではなく、対象者に対し直接連絡をとって補助事業の案内をした。		利用登録者数に対し、空き家の登録物件数が不足しているといった、需要と供給のバランスが取れていないことが問題となっている。		補助が必要な農業者に対して的確に補助金が交付できるように、助成事業に係るさらなる現況把握が必要である。								
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	補助制度の活用実績が低く、補助対象者の掘り起こし及び制度の周知が必要。		利用登録者数に対し、空き家の登録物件数が不足しているといった、需要と供給のバランスが取れていないことが問題となっている。		助成事業と、事業対象者との間に乖離がある事業があり、利用実績が全くない事業もあった。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		E グループ		施策名									
参加者	行政	坂本圭志, 内田健二, 田中美佳 間瀬桂輔, 田中達也		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民	山下茂, 小笠原辰夫, 中根千穂		基本施策	2-3	新たな魅力や価値を生み出す商工業							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税事業の返礼品に登録できるまでの支援がほしい。 ・ミーナの恵みのブランドのイメージがしづらい。 ・町内事業者の後継者不足。 ・アフターコロナを見据えた観光スポット（道の駅など）の誘致。 											
予算（事業）名	産業連携推進事業費	ふるさと納税事業費		商工業振興事業費		その他							
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	6次産業化の支援と「ミーナの恵み」ブランドのPRを行うことで、町の産業の活性化を図ることができる。	財源の確保のほかに、町の特産や観光資源などの発信にもつながる。		商工業者の指導機関である町内3商工会に助成し、金融、税務、経営、雇用等商工業振興に寄与すべく育成強化に務めることができている。									
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	ミーナの恵みブランドの認知度が高いとは言えない。	宿泊券や食事券、体験型の返礼品など、コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける返礼品が多い。また、返礼品登録の支援が必要。		新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、商工会や事業者に対する積極的な支援が必要。									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	ふるさと納税増のための努力（新たなラインナップ）が必要。		(摘要)	南知多町に自然に来てもらえる町づくりが必要。		(摘要)	職員に積極的な関わりをもってほしい。	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		E	グループ	施策名										
参加者	行政	坂本圭志, 内田健二, 田中美佳 間瀬桂輔, 田中達也		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり								
	町民	山下茂, 小笠原辰夫, 中根千穂		基本施策	2-4	何度も訪れたくなる観光・交流								
施策情報														
町民目線から見た現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・現状として、リピーターが少ないように感じる。旅館や観光施設の口コミや評価が全国から見たらそこそこ低い。 ・自動車、バイク、自転車が走りやすい道路整備をし、美化や維持管理などをしっかりとやってほしい。 ・もっと地域資源を活かした観光施策を行ってほしい。 												
予算（事業）名		観光振興事業費		観光資源保全事業費		一般企画費		その他						
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		町観光協会と協力して観光宣伝を実施することにより、事業者をサポートできる。		観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により、観光資源の保全を図ることができる。				離島振興費 ・アイランダーなどPRイベントへ参加することで、離島のPR活動ができる。 ・PRイベントがオンラインになってしまうと、現地の雰囲気を感じられず効果が薄くなってしまいう。また、首都圏においては愛知県又は南知多町の知名度はまだまだ低						
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		コロナ渦、アフターコロナを見据えた町の観光のあるべき姿を早急に構築する必要がある。また、感染症のリスクから観光客を守るため、施設の安全・安心を高める補助等が必要である。		公衆便所等の観光施設の老朽化が進んでいるが、施設の改修が進んでいない。										
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見														
総合評価		合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
		ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	離島を全国にPRする方法を検討しなければならない。		(摘要)	観光客が満足し再訪したくなる取組が必要。		(摘要)	まちづくり協議会・NPOとの連携。	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		E	グループ	施策名									
参加者	行政	坂本圭志, 内田健二, 田中美佳 間瀬桂輔, 田中達也		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民	山下茂, 小笠原辰夫, 中根千穂		基本施策	2-6	価値ある産業を残す事業承継支援							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・黒字企業との吸収合併、事業継承希望の者を仲買するとよい。 ・町内事業者のインターネットでの情報発信・SNS活用のための講座を実施したらどうか。 ・海なし県の学校の体験学習の受け入れを、町も積極的にサポートし、再び訪れたいような事業をする。 											
予算（事業）名		観光振興事業費		観光資源保全事業費		商工業振興事業費			その他				
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点		町観光協会と協力して観光宣伝を実施することにより、観光振興を推進できる。		観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により、観光資源の保全とイメージアップを図ることにより町内事業者を支援する。		商工業者の指導機関である町内3商工会に助成し、金融、税務、経営、雇用等商工業振興に寄与すべく育成強化に務めることができています。							
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点		コロナ渦、アフターコロナを見据えた町の観光のあるべき姿を早急に構築する必要がある。また、修学旅行誘致のため長野県等での誘致活動をおこなっているが、アフターコロナを見据えた誘致活動ができていない。		観光施設の適正な維持管理等に係る財源をどのように確保するか。また、公衆便所等の感染症予防対策のためにも非接触型の施設に回収する必要があると考えるが、財源の不足により進んでいない。		新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、商工会や事業者に対する積極的な支援が必要。特に町内3商工会については国や県のおこなっている感染症拡大防止に関する会員等の補助申請作成により事務が増大している。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	町全体が活気づくような事業が必要。		(摘要)	やる気のある人とマッチングできる仕組みが必要。		(摘要)	特になし。	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		F	グループ	施策名									
参加者	行政	石橋暁登, 相川久紀, 鈴木誠, 吉原裕人, 磯部貴宏		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民	須賀萌乃, 鈴木ひとみ, 岩尾哲彌		基本施策	2-7	働く環境づくり							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所がない。生活航路の観光船を使用しなければ働けない。働くには時間、お金、人材が必要。 ・我慢すればいいと、職場環境の改善は後回しにされがち。 ・町内企業の70%が、子育てしながら働きやすい職場づくりに取り組む必要性を感じているが取り組めていない。 ・人事不足により外国人実習生に頼らなければならない業種がでてきた。 												
予算（事業）名	労働環境対策事業費	高齢者能力活用推進事業費		漁港建設事業費（公共）		その他							
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者福祉サービスセンターへ負担金を拠出し、中小企業や事業者の福利厚生が進んだ。 		<ul style="list-style-type: none"> 要に応じてシルバー人材センターと連携、事業検討等を行うことができた。 		計画どおり実施ができた。		保育所環境整備費 ・早朝・延長・0・1・2歳児の保育を実施している。 ・児童総数は減少しているが、低年齢児及び配慮の必要な児童の増加に対する保育士の適正配置が困難。						
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者を増やしたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 多様な業務に対応可能な人材の確保が必要。 		施設の老朽化が進行しており、今後事業費の増大が予想される。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	5	点	（内訳）	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			（摘要） ・前年踏襲の予算編成 ・もっと支援の充実をしてほしい（テレワーク等）			（摘要） ・役場における女性管理職の割合 ・女性職員はどこに子供を預けて働いているのか			（摘要） ・役場から職場環境改善行動を		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		F	グループ	施策名									
参加者	行政	石橋暁登, 相川久紀, 鈴木誠, 吉原裕人, 磯部貴宏		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	須賀萌乃, 鈴木ひとみ, 岩尾哲彌		基本施策	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の両側の草や木が生い茂り、道路に出てきている。 ・道路、街灯の整備。 ・上水道の水質改善、上下水道の整備。 ・島に橋、河和までの電車。 												
予算（事業）名	道路橋りょう維持補修事業費	水道事業会計			土木施設維持管理費			その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	修繕・改修箇所は、施設の長寿命化が図られた。	水道の安定供給ができた。			各区からの要望に対し、緊急的な修繕箇所については、概ね対応ができた。			漁業集落排水事業特別会計 ・効率的な汚水処理ができた。 ・使用量が減少しているが、維持管理費は横ばい。					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	老朽化の進行により、対応必要な施設が多く、費用負担が課題である。	耐震化だけでなく、老朽化に対応する必要がある。			地元要望の内、側溝浚渫が増加傾向にある。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要) ・どれも大切なものなので力をいれてほしい ・財源を国へ要望を	(摘要) ・役場への通報窓口の一本化 ・中学生の通学道路整備 ・公園の管理についてはランク付け（利用頻度等）して示してほしい	(摘要)						

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		F	グループ	施策名									
参加者	行政	石橋暁登, 相川久紀, 鈴木誠, 吉原裕人, 磯部貴宏		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	須賀萌乃, 鈴木ひとみ, 岩尾哲彌		基本施策	3-7	心と体安らぐ自然・住環境							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・海や緑に囲まれているだけで気軽に行ける緑地や磯がない。 ・道の両側から草や竹が生い茂り危険、路面も悪い。 ・観光客のマナーが悪くごみが減らない。 ・プラごみや二酸化炭素排出に対する対策を本気で考え、持続可能な環境についての発信を。 ・住民や学校の子供も巻き込んでごみを出さない町を思い描けるように。 												
予算(事業)名	環境保全対策事業費		ごみ減量収集対策事業費		ごみ処理業務費		その他						
主な予算事業(実施計画・事業評価)の良い点	合併処理浄化槽の設置は汲取り便槽・単独処理浄化槽からの転換に係る設置者への補助金上乘せを行い、設置基数の増加を図る。		目標値には達しないものの、エコステーションの開設効果があり、資源回収が進んだ。		漂着ごみを回収でき、きれいな海岸が維持できた。								
主な予算事業(実施計画・事業評価)の問題点	合併処理浄化槽の設置は汲取り便槽・単独処理浄化槽からの転換が進んでいない。		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策により、ごみ減量化通信を毎月発行し周知を図ったが、深く理解してはもらえなかった。 ・生ごみのたい肥化と水切りが浸透していない。 		台風や大雨の予想が難しく、漂着ごみ量の増減が激しい。								
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	5	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要) ・環境緑化はいいと思う ・衛生組合分担金はいつまでか等の説明がほしい	(摘要) ・町独自に環境通信(広報)を作成、充実 ・環境美化啓発	(摘要) ・清掃箇所の再検討 ・放棄農地を親子農園に ・ハイキングコースを作成、看板等設置 ・ゴミ拾いや環境美化啓発看板の設置						

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		G	グループ	施策名									
参加者	行政	戸田竹彦, 堤田健太, 久野裕規, 山下哲矢, 鈴木喜彦		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	安田篤史, 宮坂智賀, 木藤朝光		基本施策	3-1	まちと命を守る防災							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地区は海拔の高いところに避難施設が確保でき、安全に対する施策がなされている。内海地区では、海拔の高いところに施設がなく、2次避難場所が不安である。住民の避難意識はしっかりしていると思う。我が家もいろいろな対策をしている。 ・障害がある方や高齢者は津波到達までは時間があるので、発災後いち早く近隣のサポート受け皆で逃げる。町は避難所の充実を計ること。避難経路の整備。 												
予算（事業）名	防災対策事業費	災害対策事業費		住宅耐震改修費			その他						
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等で住民の防災力の向上を図る。地区ごとに実施しており、他の町に比べて参加しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料は目標値を達成 ・自主防災会へ補助金交付し、地域の防災力の向上を図っている 		地震発生時における住宅の倒壊や、避難路の通行障害を防ぐことができる。									
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練への若い世代の参加率が低い ・訓練の実施には新型コロナ対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の保管場所確保が困難 ・自主防災会への補助金の周知や補助内容の検討 		耐震改修の費用が高額 所有者が高齢化している場合が多く、改修に踏み切れない									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	5	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)	(摘要)			(摘要)				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		G	グループ	施策名									
参加者	行政	戸田竹彦, 堤田健太, 久野裕規, 山下哲矢, 鈴木喜彦		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	安田篤史, 宮坂智賀, 木藤朝光		基本施策	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・無償の交通指導員のボランティアを広く募集して子供の安全に目を配ってほしい。 ・老人の病院や買い物などの交通手段を町が保障すれば、免許書返上も進み、交通事故も減ると思う。 ・施錠にたいする意識は低い地域だと思う。安全な町であるという意識が高い 												
予算（事業）名	交通安全推進費	交通安全施設整備費			防犯対策費			その他					
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	地元団体と協力して交通安全キャンペーン等啓発活動を実施 人身交通事故は減少している。	交通上の危険個所に交通安全施設を新設することで、安全性の向上を図った。			防犯カメラ設置の補助を、団体向けに実施。 防犯灯設置の補助を、区に対し実施。								
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	交通安全意識の低い人への効果が薄いこともあり、効果的な啓発活動が必要。	地元要望が多数あるため、すべての要望に対して予算の措置ができるわけではない。 老朽化の課題もある。			防犯カメラの耐用年数が5年であり、維持管理に費用がかかる。 防犯灯設置の要望が多くすべての要望に対して、予算の措置ができるわけではない。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	6	点	(内訳)	予算事業	3	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		G	グループ	施策名									
参加者	行政	戸田竹彦, 堤田健太, 久野裕規, 山下哲矢, 鈴木喜彦		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	安田篤史, 宮坂智賀, 木藤朝光		基本施策	3-3	資源を活かす土地利用							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定空き家になる前にどうするかを個人で決めておく。必要性をもっと理解してもらう。情報発信が重要だと思います。 ・ 移住者支援は、住む家(空き家バンクの紹介)だけでなく、暮らしの困りごとへの相談や地域や関係機関と結びサポートするワンストップ窓口が必要だと思う。 ・ 人口増加は全国的にゼロサムゲームで難しいので住みやすい町にしたらどうか。宅地を整備し、景観のよい「～ヒルズ」のように。道路も整備する。 												
予算(事業)名	空き家等対策事業費		地方創生推進事業費(空き家・まちづくり推進事業)		都市計画一般管理費		その他						
主な予算事業(実施計画・事業評価)の良い点	特定空家等の除却に関する補助を実施しており、所有者の負担を軽減できている。		空き家バンクを活用して移住者の増加に寄与している。		必要最低限の都市計画の運営をしている。								
主な予算事業(実施計画・事業評価)の問題点	特定空家等になる前の予防策が乏しいため、相続や管理などの支援が必要。		移住者のフォローアップが足りておらず、地域等と協力したワンストップ窓口が必要。		魅力的なコンセプトのある住宅地に乏しい。								
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報	W	グループ	施策名		
参加者	行政	高田順平, 山本剛, 奥川広康, 山本剛資	基本施策	4-1	職員の成長とやりがい
	町民	酒井友之, 吉原知味, 齋藤慎也, 宮本邦彦	業務改善 推進事項		挑戦できる組織づくり

施策情報

行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況に対応するため、官民連携の活用を推進する必要がある。 ・公共施設マネジメントにおける、PFI事業等の組織的な支援の構築。 ・官民共創事業の経験値やノウハウを全庁的に共有する体制の構築。 ・人事評価制度に対する職員満足度の低下。 ・総合計画を核とした経営をするための職員の意識改革と能力の向上。 ・地域活動に参加しやすい体制の構築。 ・職員のモチベーションの低下及び離職率が高くなっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種など突発的な業務に応援体制の構築。 ・男性職員の育児休暇取得率が低い。 				
業務改善 推進項目	民間活力の 活用の推進	職員の意識改革 と能力の向上	労働環境の整備	その他	
業務改善の取組 の良い点	・民間活用を推進することによって、民間のノウハウが活かすことができる。	・予算規模を拡大せず、職員が自ら研修を実施することでスキルアップも図れる。	・役場が率先して男性の育休取得を推進することによって、町内企業の模範となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピード感が必要 ・リモート文化が浸透しつつある ・フレックス有効 ・やりたいことがやれるチーム活動 	
業務改善の取組 の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活用によって、営利目的になりサービスの低下につながるか。 ・地元が如何に関わるかが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に職員が参加することで、地域団体の事務局をまかされてしまう。 ・町外職員の参加しやすい地域活動環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレックスタイム制やノー残業デーの実施により、サービス残業の増加を懸念。 ・メンタルケアの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップダウンとボトムアップを併用 ・ふるさと納税を活用 	

評価結果・グループワーク（意見交換）の意見

総合評価	合計	5	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	2	点	マネジ メント	1	点	
	iii	概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		
					官民連携は進めて 今ある予算内でできること			コロナで気付いた点多い 改善のスピードを向上			所属とは違うチームでの活動は有効 ボトムアップを意識して		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		×	グループ	施策名									
参加者	行政	内田純慈, 宮地利佳, 富田和彦, 田中直之, 大久保美保		基本施策	4-2		業務の高度化、効率化						
	町民	桂木繁功, 鈴木甚八, 山下かず代		業務改善 推進事項			デジタル化・DXの推進						
施策情報													
行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算・人員で課題の解決に取り組んでいくためには、業務の高度化・効率化が求められる。 ・一方、高齢化が進む中、デジタル化を進めることが、高齢者を置き去りにした施策とならないよう注意が必要である。 ・職員へのタブレット導入など行政情報のデジタル化により、ペーパーレス化の推進が図られ始めている。 ・職員の意識としては、電子決済の導入などにより、さらなる業務効率化が必要との思いがある。 ・デジタル化の推進に伴い、情報漏洩等のリスクに対応するため、職員のセキュリティ意識の向上が必要である。 												
業務改善推進項目	政策・調整機能の強化		行政のスリム化・事務の効率化			行政情報のデジタル化			その他				
業務改善の取組の良い点	政策・調整に携わることで職員の課題解決能力が向上し、行政組織の政策形成能力の底上げにつながる。		・あいち電子申請システムを活用することにより、住民サービスの向上が図れる。			・タブレットの導入により、コピー代等の削減につながる。							
業務改善の取組の問題点	行政内部の能力や人的資源には限りがあり、専門性を欠くといった側面は無視できない。		・手続きのオンライン化を充実しても高齢者等機器を持っていない方・使い方のわからない方等への対応が課題となる。			・お年寄りに対して難しいのではないか。慣れるための教室があるとよい。							
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	6	(内訳)		予算事業	3	点	業務改善	2	点	マネジメント	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		Y	グループ	施策名								
参加者	行政	滝本功, 石黒俊光, 相川和英, 鈴木和芳, 森崇史		基本施策	4-3		町民の満足度向上					
	町民	秦由岐穂, 宮島崇志, 中村修見, 千頭聡		業務改善 推進事項			公共施設・サービスの再編					
施策情報												
行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少下において、必要な住民サービスを提供するため、財政負担の軽減のため、公共施設の維持管理に係るコストを削減する必要がある。 ・今後の児童・生徒の減少を見据え、子供たちにとってよりよい教育環境整備するため、学校の適正規模や適正配置を検討する必要がある。 ・南知多町の良いイメージを広げるため、SNSを活用した情報発信が必要である。そのために、個々の職員の情報発信力を高める必要がある。 ・将来の人口減少を見据え、行政の組織体制や職員数につき、適正化を検討する必要がある。 ・住民との協働の必要性から、職員には住民の意見を汲み取る能力が必要となる。そのため、職員のコミュニケーション力向上と同時に地域に向く職員を支援する体制づくりも必要である。 											
業務改善 推進項目	公共施設の適正配置		施策・事業の見直し			住民のための体制づくり			その他			
業務改善の取組の 良い点	公共施設による財政負担の軽減が図れる。児童・生徒数に応じた適正配置により教育環境の充実が図られる。		広く、早い情報の収集が可能になる。オンライン申請の拡充などにより、住民の利便性の向上が図れる。			人口規模だけでは測れない自治体特有の事務などを、適正な職員数管理には加味する必要がある。						
業務改善の取組の 問題点	公共施設の再配置において、地域間の合意形成の確保が課題。		人口規模だけでは測れない自治体特有の事務などを、適正な職員数管理には加味する必要がある。			地域への関わり方を決めておかないと、職員の負担は相当大きくなる。						
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見												
総合評価	合計	3	(内訳)	予算 事業	1	点	業務 改善	1	点	マネジ メント	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		Z	グループ	施策名													
参加者	行政	山本有里, 神谷和伸, 坂本有二, 山下忠仁		基本施策	4-4		持続可能な行財政運営										
	町民	大岩徳夫, 松下廣法, 伊藤恵子		業務改善推進事項			持続可能な財政基盤の構築										
施策情報																	
行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政コスト等の把握及び分析した結果を職員へ周知することにより、職員がコスト意識を持つ必要がある。 ・ 職員のコスト意識に個人差が生じている。 ・ 現在保有する公共施設の多くは人口が最も多かった時期に建設されている。現在の人口に見合った保有量にすることで維持管理費を削減する。 ・ 公共施設等の町有財産の保有量や稼働率を把握する必要がある。 ・ 町の補助金で行っている地域の活動等について、実施方法や資金調達について町と町民が協力して考える必要がある。 																
業務改善推進項目	歳出の抑制			歳入の確保・充実			効果的・効率的な行財政運営			その他							
業務改善の取組の良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会だけでなく、枠予算により最大値を示すことで職員に意識付けができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税の返礼品は町内の産業を活性化し、体験型は他の自治体には少なく注目される可能性がある。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用頻度が低かったり、民間による利用が有効な町有財産を処分（払下げ）することで、維持管理費の削減や歳入の確保、地域の活性化が図れる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 削減する町有財産をどのように決定するのか。 ・ 町の貯金である基金は、いくらあればよいのか。財政が厳しくない状況をどのように計るのか。 							
業務改善の取組の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金を削減することで地域の活動等が縮小されないか。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ ネーミングライツやクラウドファンディングは実現可能か。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務諸表の理解ができるのか。 ・ 町では何年先までの見通し（財務の計画）がされているのか。 										
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見																	
総合評価	合計	5		(内訳)		予算事業	2		点	業務改善	2		点	マネジメント	1		点
	iii	概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)						
					補助金の削減はクラウドファンディングで			公共施設の再利用は収益又は地域の活性化			歳出の抑制は町民とともに、町民の皆様の現状を知ること						